令和3年度
総合評価落札方式の一部改訂について

（港湾空港関係：工事）

令和　3年　4月

北陸地方整備局 港湾空港部

【適用時期】
　〇本資料に関する見直しは、令和3年4月1日以降に公告（告示）する案件より適用します。

【留意事項】
　〇本資料は、北陸地方整備局港湾空港部ホームページ（http://www.pa.hrr.mlit.go.jp/）入札・契約情報に掲載しております。
　〇個別案件毎の詳細は、入札説明書をご確認下さい。
　〇問い合わせ窓口：北陸地方整備局 港湾空港部 品質確保室（☎025-370-6607）

（工事） 目 次

1. 新技術活用表彰の創設 《新規》

2. 海外インフラプロジェクト技術者の評価について 《新規》

3. 技術提案評価型（S型）における着目点の申請者設定（自由提案）を求めない試行工事

4. 新型コロナウイルス感染症による情勢を踏まえた入札に係る取り組み

5.「その他工事」における評価について

１．新技術活用表彰の創設《新規》　【工事関係】

○ 建設現場・委託業務における生産性向上の優れた取組を表彰し、ICTやBIM/CIM等の新技術の活用を推進していくため、原則、前年度に完成した北陸地方整備局発注の工事・委託業務の該当企業等に対し、総合評価において加算点の対象とする。

【令和２年度工事表彰の対象者】
次に掲げる事項により有効性、先進性、波及性の観点から斟酌する
- 3次元測量・設計
- ICTの活用
- BIM/CIMの活用
- プレキャスト製品の活用
- 新技術の活用工事書類の簡素化遠隔臨場
- i-Constructionに係る人材育成、講習会の実施
- 上記に掲げるもののほか、生産性向上に関し創意工夫に努め、技術向上の一定の成果が得られたもの

【評価の考え方】
＜工事＞
　優良工事表彰、 i-Construction大賞と同一工事による表彰の場合は重複して加算しない。

【適用開始時期】
令和３年８月頃を予定。また、対象期間は他の局長表彰と同様に２年間の予定。

2．海外インフラプロジェクト技術者の評価について《新規》 １／３【工事・業務共通】

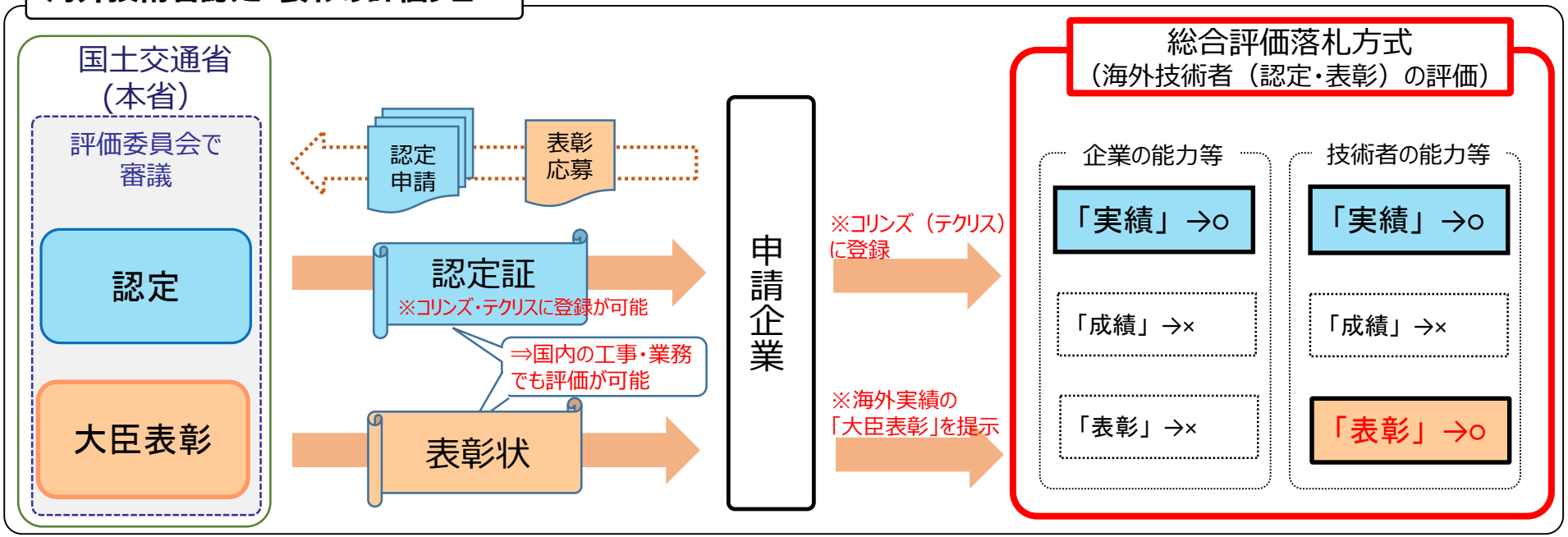
背 景

○建設業の海外進出、技術者の国内外の流動性を高める必要。
○一方、直轄工事等で実績評価の際に用いるデータベース（コリンズ・テクリス）への登録には、発注者の確認（サイン）が必要であることから海外の実績登録が進んでおらず、当該実績が国内公共工事の調達において評価されない。
○国内の公共工事において、海外工事等の実績を評価する仕組みが必要。

目 的

○今後の海外進出や国内外の技術者の流動化を促進するため、海外インフラプロジェクトに従事した本邦企業の技術者の実績を認定し、特に優秀な者については表彰する制度を創設するとともに、本認定・表彰の結果を国内工事・業務の入札時に評価する。

海外技術者認定・表彰の評価フロー



2．海外インフラプロジェクト技術者の評価について《新規》 2／3【工事・業務共通】

（例）技術提案評価型S型（WTO以外）標準タイプ（総合評価ガイドライン抜粋）

評価項目			評価基準	配点		
総合評価	企業の能力等	①過去〇年間の同種工事実績		より同種性の高い工事の実績あり	3点	3点
				同種性が認められる工事の実績あり	0点	
		②同じ工種区分の〇年間の平均成績		80点以上	4点	4点
				75点以上80点未満	2点	
				70点以上75点未満	1点	
				70点未満	0点	
		③表彰（同じ工種区分の過去〇年間の工事を対象（※5）		表彰あり	1点	1点
				表彰なし	0点	
		④その他自由設定項目		（上限を2点とする）	0～2点	2点
	技術者の能力等	⑤過去〇年間の同種工事実績	同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者あるいは現場代理人として従事	4点	4点
				より同種性の高い工事において、担当技術者として従事等、または、同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者あるいは現場代理人として従事	2点	
				同種性が認められる工事において、担当技術者として従事	0点	
		⑥同じ工種区分の〇年間の平均成績		80点以上	4点	4点
				75点以上80点未満	2点	
				70点以上75点未満	1点	
				70点未満	0点	
		⑦表彰（同じ工種区分の過去〇年間の工事を対象（※5）		表彰あり	1点	1点
				表彰なし	0点	
		⑧その他自由設定項目		（上限を1点とする）	0～1点	1点
	⑨技術提案			高い効果が期待できる	6点	6点（×5提案）
				効果が期待できる	3点	
				一般的事項のみの記載となっている	0点	

	港湾	（参考）旧建
①企業の施工実績 海外実績を国内の実績と同様に評価	〇	〇

※【従前】契約書で確認→【変更】コンリズで確認可能

【補足事項】
港湾空港部では、これまでも海外工事の実績を、契約書で確認出来れば、同種工事実績として認めているところであるが、コリンズでの運用が4月現在で開始されていないため、当面の間は、これまで同様に書面の提出をもって実績を確認を行う。

⑤技術者の施工実績 海外実績を国内の実績と同様に評価	〇	〇

※【従前】契約書で確認→【変更】コンリズで確認可能

⑥技術者の平均成績 ※認定制度では評定点が与えられないことから、当面、平均成績への点数付与は行わない。	×	×

⑦技術者の表彰 表彰された海外実績を国内の表彰と同様に評価（全整備局で評価可能） （例） 1位評価：大臣表彰（局長表彰相当） 2位評価：若手・女性表彰（事務所長表彰）	〇	〇

2．海外インフラプロジェクト技術者の評価について《新規》 3／3【工事・業務共通】

・「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」制度を令和２年度から創設
・初回として、1077 件の認定証を発行するとともに、優れた技術者28 名を表彰
https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07_hh_000570.html

実績認定件数

	認定数	建設会社	建設コンサルタント	その他
受付企業等数（申請企業等数）	45者（46者）	26者（27者）	17者（17者）	2者（2者）
認定証対象事業数（申請事業数）	366事業（421事業）	151事業（167事業）	212事業（251事業）	3事業（3事業）
認定証対象者数（申請者数）	708名（742名）	575名（607名）	127名（129名）	6名（6名）
認定証発行件数（申請件数）	1077件（1199件）	705件（760件）	362件（429件）	10件（10件）

← 参加実績及び評価対象になる可能性のある工事・業務実績

令和2年度海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞
2020 Minister's Award for Outstanding International Infrastructure Engineer (Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Award)

番号	氏名	企業名	国／地域名	プロジェクト名
1	相川 秀一	東洋建設（株）	ミャンマー	ティラワ港コンテナターミナル建設工事
2	岩田 修	西松建設（株）	香港	セントラルカオルーン幹線道路新設工事ホーマンティン立坑工区
3	宇都宮 真理子	日本コンサルタンツ（株）	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業（MRT南北線フェーズ1）運営維持管理支援
4	大縄 泰平	佐藤工業（株）	シンガポール	地下鉄ダウンタウン線（第3期）936工事（ベンクーレン駅建設工事）
5	大西 陽子	（株）大林組	インドネシア	タンジュンプリオク港アクセス道路建設事業（II）E2A工区・パッケージ3
6	木之下 一也	東亜建設工業（株）	ガーナ	セコンディ水産業振興計画
7	坂本 雅信	清水建設（株）	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・104/105工区
8	鈴木 駒成	五洋建設（株）	香港	香港国際空港第三滑走路建設地盤改良工事(第1工区)
9	田部 元太	（株）大林組	バングラデシュ	カチプール・メグナ・グムティ第2橋建設・既存橋改修事業
10	豊田 高士	八千代エンジニヤリング（株）	フィジー	ナンディ川洪水対策策定プロジェクト
11	南條 大助	（株）オリエンタルコンサルタンツグローバル	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・施工監理コンサルタンツ業務
12	野村 泰由	東急建設（株）	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・101/102工区
13	橋詰 亮	（株）フジタ	香港	香港国際空港西エプロン拡張工事・546工事
14	福原 教仁	（株）日本空港コンサルタンツ	フィリピン	新ボホール空港建設及び持続可能型環境保全事業
15	松野 憲司	（株）IHIインフラシステム	ベトナム	ニャッタン橋（日越友好橋）建設事業 パッケージ１
16	丸二 信彦	三井住友建設（株）	タンザニア	タザラ交差点改善計画
17	若松 友二	飛島建設（株）	東ティモール	コモロ川上流新橋建設計画

（五十音順・敬称略）

令和2年度海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣奨励賞
2020 Minister's Encouragement Award for Outstanding International Infrastructure Engineer (Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Award)

番号	氏名	企業名	国／地域名	プロジェクト名
1	赤城 嘉紀	JFEエンジニアリング（株）	ラオス	国道九号線橋梁改修計画
2	梅木 知裕	八千代エンジニヤリング（株）	スーダン	統合水資源管理能力強化プロジェクト
3	上床 和輝	新菱冷熱工業（株）	アラブ首長国連邦	アブダビ首長国アブダビ国際空港拡張に伴う地域冷房プラント-1建設工事
4	岡部 真佳	清水建設（株）	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・103工区
5	杵築 秀征	西松建設（株）	香港	地下鉄観塘延伸線1001工事
6	黒田 杏	五洋建設（株）	シンガポール	センカン総合病院建築工事
7	清水 憲一	飛島建設（株）	パラオ	上水道改善計画
8	高岡 泰弘	日本工営（株）	ミャンマー	新タケタ橋建設計画
9	滝 直也	（株）IHIインフラシステム	ベトナム	ニャッタン橋（日越友好橋）建設事業 パッケージ１
10	中田 直樹	東急建設（株）	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・101/102工区
11	村松 敬哲	東亜建設工業（株）	ガーナ	セコンディ水産業振興計画

（五十音順・敬称略）

【工事関係】

３．技術提案評価型（Ｓ型）における着目点の申請者設定(自由提案)を求めない試行工事

○ 現行において、総合評価落札方式の技術提案にかかる入札参加者（受注者）の負担及び発注者の技術審査事務の負担に対して、双方の負担を軽減し、総合評価落札方式の円滑な実施を行うため、技術提案評価型（Ｓ型）において、自由提案を求めない工事を試行的に実施する。

総合評価タイプ	改訂前				改訂後			
	技術提案の指定テーマ数	各テーマ毎の着目点数	満点	配点	技術提案の指定テーマ数	各テーマ毎の着目点数	満点	配点
技術提案評価型 S型（WTO）	2テーマ	3着目点 （内、自由提案1）	50点	25点／ﾃｰﾏ	2テーマ	3着目点 （内、自由提案1）	50点	25点／ﾃｰﾏ
技術提案評価型 S型（非WTO）	【難易度がⅣ以上】 2テーマ	3着目点 （内、自由提案1）	40点	20点／ﾃｰﾏ	【難易度がⅣ以上】 2テーマ	2着目点 (内容により3着目点)	40点	20点／ﾃｰﾏ
	【難易度がⅢ 又は単一工種】 1テーマ	3着目点 （内、自由提案1）	30点	30点／ﾃｰﾏ	【難易度がⅢ 又は単一工種】 1テーマ	2着目点	30点	30点／ﾃｰﾏ
【参考】国土交通省港湾局ガイドライン（H27.3）	・技術提案の指定テーマは、工事内容に応じ、１～2テーマを設定する。 ・指定テーマに対する技術提案は、各テーマ毎に最大3～5つを基本とする。 （提案数を超えた提案内容については評価せず、提案数までの提案内容にて評価する）							

４．新型コロナウイルス感染症による情勢を踏まえた入札に係る取り組み【工事関係】

【ＣＰＤ評価期間の拡大】

○ 令和２年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、研修プログラムの中止や、研修参加人数の制限等の対策が図られ、加点対象となるＣＰＤ「※1２０単位以上」の取得が難しい時期であったことを考慮し、令和３年度は暫定的な措置として、評価対象期間を２年間※2に拡大する。

※1 港湾5工種工事の場合。その他工事のＣＰＤ単位数については、工事内容に対応する各構成団体が推奨する年間獲得単位数に準拠します。

◇港湾5工種工事における例

【令和2年度】

評価項目	評価内容	評価基準及び配点	
継続教育(CPD)の取り組み状況	令和元年度の継続教育の取得単位が２０単位以上に加点する。	取得単位が２０単位以上あり	1.0点
		上記以外	0.0点

【令和３年度】

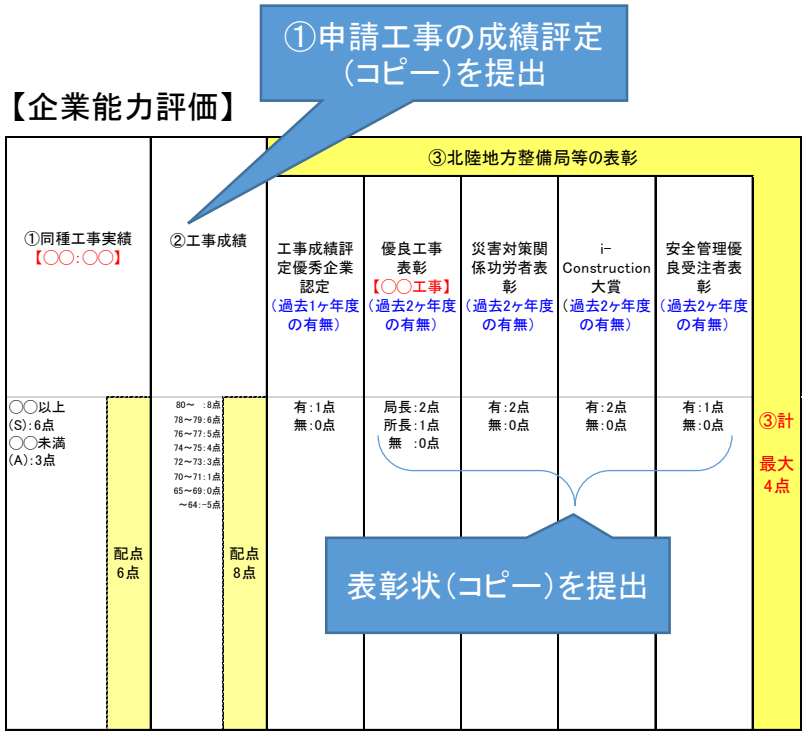
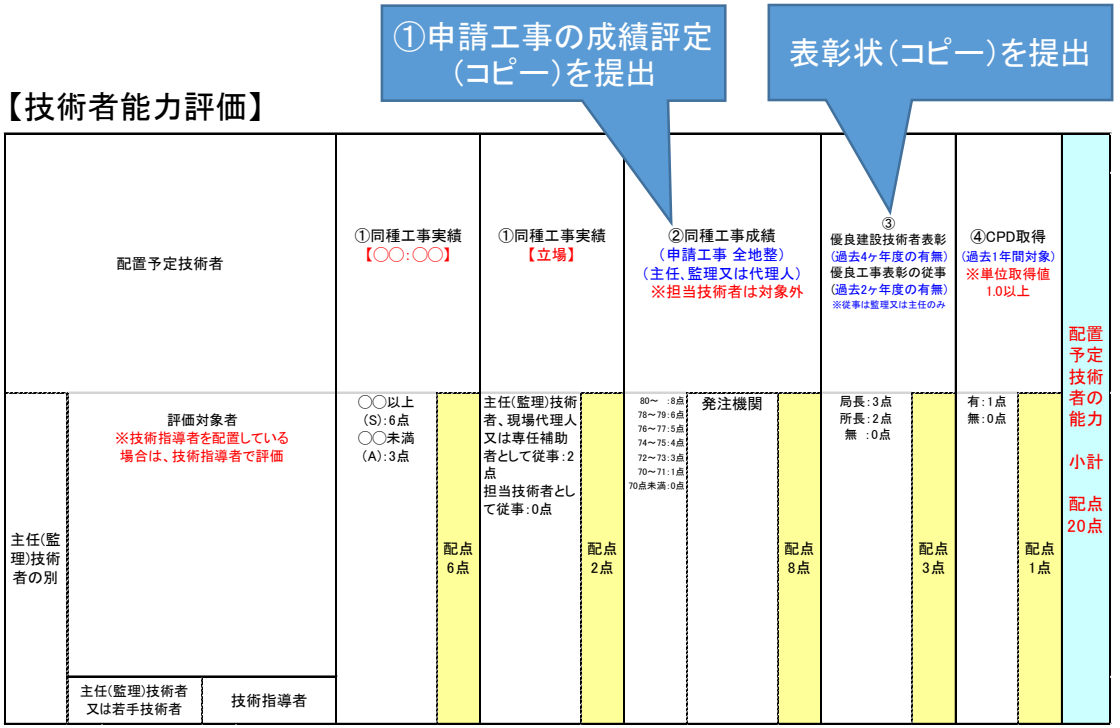
評価項目	評価内容	評価基準及び配点	
継続教育(CPD)の取り組み状況	令和元年度または令和２年度の継続教育の取得単位が２０単位以上に加点する。※2	取得単位が２０単位以上あり	1.0点
		上記以外	0.0点

※2 取得単位は、令和元年度、令和２年度の各年度内において２０単位以上の取得を評価対象とし、２ヶ年合計で２０単位以上の申請は認めない。

5．「その他工事」における評価について　【工事関係】

○ 港湾５工種（空港等土木工事、港湾土木工事、港湾等しゅんせつ工事、空港等舗装工事、港湾等鋼構造物工事）を除く、電気、機械、通信、建築等の工事については、申請された工事が北陸地方整備局発注工事であれば書類の確認をもって評価する。

【企業能力評価】



【技術者能力評価】